

はじめてのクラシック

Introduction to Classical Music

B 2025
APRIL
[第2035回]

反戦を掲げたモダニスト

ベンジャミン・ブリテン

Benjamin Britten (1913–1976)

第1次世界大戦前年の1913年に生をうけたブリテンは、加速する時代を生きる早熟な天才だった。ストラヴィンスキーやプロコフィエフを範として「モダン」を追求した彼は、大学を卒業すると映画音楽の作曲や伴奏も担当。そこで知り合った詩人オーデンの思想に感化されて、反戦の思いを強くしてゆく。その時期に作曲された《ピアノ協奏曲》は、すぐれたピアニストでもあった自身のテクニックを惜しみなく注ぎ込みながらも、時代を革新しようとする気概にあふれている。

時代のざわめきに耳を傾けるブリテン
イラストレーション: ©IKE

忍び寄る大戦の影

ブリテンがこの作品を作曲したのは1938年。ピアノの機械的な運動性が醸し出すのは、翌1939年に勃発する第2次世界大戦の予感だろうか。保守的な英国音楽界に飽き足らず、時代のざわめきに鋭敏に耳を澄まし、表現しようとする若きブリテンの姿が映し出されているようだ。

